

尾道市立美術館所蔵名品展

# 尾道の景色は寶玉である —小林和作を中心に



## [併設企画] 人の姿

尾道の景色は寶玉である 小林和作

私は、昭和九年に、東京から尾道へ移つて来たのだが、その時、尾道を撮んだのは、尾道が古い町で、いろいろの古い建物があつて、且つ、尾道の海は、日本全体でも、最も景色の美しく多島海であるので、それらを繪にする事が目的であつたのである。この私の目標は、確實的的として、尾道や附近の風土や景色は、研究すればする程に美しい。そこで、私は、こゝに喜んで永住し、又、生ある限りこの一帯の景色を写生して、それに依つて、繪を作る事を志しつゝ居る。

私は、尾道の山と海の景色は、尾道側、千光寺山、西国寺山、浄土寺山の、構成の美しい三つの山があり、その山の中や、山麓には、美しい建物が多く、又、細長い尾道の海を隔て、向島があり、この島も亦、美しく、近年は尾道大橋が出来て、向島が発達して、ますます美しくなりつゝあり、そこで、私は、尾道とその一帯の景色は、海岸としては、日本一である、と自慢しつゝ、ある。

しかし、この一帯の住民諸氏は、別に、日本の海岸の全体を歩いて見盡くしたわけではないから、尾道の美しさの大体はわかつて、私のようにこの景色を心酔して、日夜、眺めつゝあるものの心境は、十分には、わかつて貰へぬらしいので、その辺も、私は時々遺憾に思ひつゝ、あるのである。

私は、若い頃には日本画をかき、三十歳代からは油繪をかいて来たが、しかし、いつの時代も風景画家であつたので、日本全国の隅々を勿論、欧州の景色まで大体は見て知つて居るので、その目で見て、尾道とその一帯は、寶玉を彫琢して造つた寶島のように見える。私の任務は、この寶島の尾道を繪にし、又、文章にかき、その美しさを尊ぶとさを宣傳し盡す事にある。

この一文も、そのためにかくのだが、以後も、生あり限り、いろいろにかいて宣傳したいと思つて居る。

尾道市立美術館蔵 小林和作「尾道風景」油彩、カンパシ、1935年頃



小林和作《尾道風景》油彩・カンパシ、1935年頃



小林和作《尾道内島》水彩・紙

平成23年 6月25日[土]~7月31日[日]

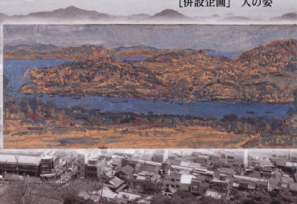
尾道市立美術館  
ONOMICHI MUSEUM OF ART

〒722-0032 尾道市西土堂町1-19千光寺公園内 Tel.0846-23-2281

休館日：月曜日（7月18日は開館） 開館時間：午前9時～午後5時（ただし、入館は午後4時30分まで）  
観覧料：大人／300円、高大生／200円、中学生以下無料（前売は各100円引、団体（20名以上）は各50円引） ■70歳以上、身障者は、証明できるものを提示により無料  
主 催：尾道市立美術館 後 援：広島県、NHK広島放送局、中国新聞備後本社、尾道エフエム放送、尾道ケーブルテレビ

尾道の景色は寶玉である  
—小林和作を中心に

【併設企画】人の姿



小林和作《尾道湾》油彩・カンヴァス 1935年



小林和作《尾道湾》水彩



《山鳥》

小林和作が尾道について語った随筆「尾道の景色は寶玉である」をテーマにした展覧会を開催します。

小林和作は、昭和9年に東京から尾道に移り住み、向島の高見山が尊敬するセザンヌがよく描いたサント・ヴィクトワール山に似ていると賞賛するなど、尾道の風景に感動しました。特に、文中で「尾道とそその一帯の景色は、海岸としては、日本一である」と語っているように、向島や岩子島を尾道側から描いた作品を多く残しています。

本展では、小林和作が描いた尾道風景を収蔵作品から選び、あわせて、描かれた作品の現在の風景写真と並列して紹介します。  
【併設】「人の姿」展では、和田英作の「少女像（横山美智子肖像）」など、人物画の収蔵を踏まえて企画したもので、肖像画からウサギを擬人化したディック・ブルーナのミッフィーシリーズ、また、地域にある美術作品の調査から発見した作品を加えて、様々な人物表現を紹介します。

## Information ◆学芸員トーク「小林和作と尾道」

小林和作と尾道について、当館の学芸員が分かりやすく解説します。

日時：6月26日(日)・7月24日(日) 午後2時～(30分程度)

対象：一般。参加無料・申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

## こども学芸員対象行事

参加者には「こども学芸員シール」を発行。  
添付の方1名は無料で入館できます。

◆「わいわい がやがや おしゃべり鑑賞会」  
鑑賞資料などをもとに、楽しくおしゃべりしながら作品鑑賞しよう。

日時：7月10日(日) 午後2時～3時

対象：中学生以下。参加無料・申込み不要。



小林和作《岩子島を望む》水彩



《尾道山より》

## ご利用案内

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで、「往復車券+鑑賞券」のお得なセット販売をご利用ください。) なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用ください。(入館時に駐車券提示により1名に限り100円割引します。)
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

